

宮沢地区公民館だより



令和 5年9月1日
発行：宮沢地区公民館
電話・FAX22-0433

令和5年度防犯等標語 児童から見た、安全・安心・住み良い地域

児童の目線から見た作品35点の応募があり、厳正な審査の結果、下記の通り決まりました。
8月23日、宮沢小の2学期始業式の際、校長先生から賞状と記念品を伝達した。おめでとう！

◇防犯・安全標語

賞	標語	氏名
最優秀賞	出かける前 しっかりかくにん 戸じまりを	宮沢小4年 倉兼 汐梨(丹生)
優秀賞	出来心 ポッケに入れたら ジ・エンド	宮沢小3年 土田 寅之助(正蔵)
優秀賞	その電話 ほんとにあなたの 家族なの？	宮沢小3年 岸 杏寿(中島)

◇交通安全標語

賞	標語	氏名
最優秀賞	とびださない 私とままとの おやくそく	宮沢小3年 鈴木 月渚(中島)
優秀賞	はっとする 車のかげから 飛び出すな！	尾花沢小6年 堀江 航(安久戸)
優秀賞	とまるのを かくにんしてから わたろうね	宮沢小4年 安野 莉望(丹生)

◇環境美化標語

賞	標語	氏名
最優秀賞	ごみひろい だれかじゃなくて じぶんから	尾花沢小1年 菅野陽輝(安久戸)
優秀賞	すてないで あなたの心 ポイすてで	宮沢小3年 岸 杏寿(中島)
優秀賞	ぼいすては、心もいっしょに すてている。	宮沢小1年 加藤 愛椰(丹生)

大崎市古川宮沢地区と交流事業

「みやさわ・みやざわ交流グラウンドゴルフ大会」参加者募集！

4年ぶりに再開し、相互交流と今後の地域づくりに役立ってます。無理や負担のない程度の楽しい企画になっていますので、奮ってご参加ください。賞品、参加賞あり。

日時：10月13日(金) 9:30開始～14:30終了

場所：徳良湖グラウンドゴルフ場 (参加費2,500円 弁当・懇親会費)

終了後、花笠の湯で懇親会。【雨天時、輪投げ大会(宮沢小学校)】

①後日、各団体を通して参加依頼しますので、是非ご参加ください♪締切り 9月28日

②個人の参加申込の方は、宮沢地区公民館(TEL22-0433)まで電話お願いします。



これまでのご苦勞をねぎらい、健康と長寿をお祝い

◇ 敬老祝品を贈呈します ◇

今年も各集落の敬老会協力員が各自宅にお届けします。

時間帯は、お昼頃です。赤飯、紅白まんじゅう、鯉の甘露煮ほか

対象者：約420名の方

9/9(土) 行沢・中島・押切・高橋・中刈・矢越・関谷・市野々・岩谷沢

9/10(日) 安久戸・丹生1～3・正蔵1～3・上ノ宿



【宮沢地区区長会】

9月1日、防災の日 関東大震災から、100年

1923(大正12)年9月1日、正午2分前に地震が発生。最大震度7に達したと推定。死者数約105,000人のうち、揺れによって住宅が潰れて亡くなった人は約11,000人と推定されている。火災による死者は実に92,000人、死者数全体の88%に及ぶ。大火災の原因は、地震発生が土曜日の正午前という昼食の準備で火を使っていたことがよく指摘されている。関東大震災から、今年で100年。東日本大震災から12年が経過。今、備えることを考える時である。

宮沢地区(押切地区)の防災訓練が7月2日(日)宮沢地区公民館を会場に実施した。この訓練は、地域内における実践的な防護訓練として住民参加の下、防火意識の高揚を図り地域住民の福祉向上に資するため実施された。



【9月の行事予定】

日	内容
1日(金)	防災の日、関東大震災から100年
	がん征圧月間
3日(日)	秋季市民一斉クリーン作戦
4日(月)	さわやかあいさつ運動
5日(火)	市議会9月定例会～25日まで
9日(土)	敬老祝品贈呈
10日(日)	敬老祝品贈呈
20日(水)	おきな茶屋(健康クイズ・元気講座)

はなみずき ヨガ教室

9月13日(水) / 9月27日(水)

時間：10:00～11:00

場所：尾花沢市地域交流センター

参加費：500円

持ち物：ヨガマット

(なければバスタオル)



宮沢地区の人口と世帯

(8/1現在)(前月比)

男 797人 (-3)

女 778人 (-3)

計 1575人 (-6)

世帯数 582世帯(±0)



8月8日（火）に、宮沢地区公民館で夏休み子ども体験教室が行われました。

最初にお昼に食べるカレーの材料の皮むきや包丁を使って一口大に切った。じゃがいも班、にんじん班、たまねぎ班に分かれて、「たまねぎを切ると涙が止まらない」と言いながらも手際よく下ごしらえをした。次に、警察署では道場で迫力ある日頃の訓練の様子を見学し、警察官がどのように市民の安全安心を確保するため備えているか勉強しました。消防署では施設や消防車、救急車を見学し、防火服を着せてもらい緊張していた。子供たちは「暑い中でも、重い防火服を着て消火活動している消防士さんは凄い」と驚いていた。お昼には、美味しいカレーとかき氷でお腹いっぱい。午後からは防犯・安全、交通安全、環境美化標語の最優秀賞作品を看板に書いた。最後はすいか割り。「右、右、真っすぐ、よし打て」。みんなで割ったすいかは、とっても「甘い夏」の味がした。あっという間の楽しい一日でした。すいか提供は、倉兼会長さんから頂きました。お帰りに集合写真を手渡したら、「来年、また来る」とあった。



芭蕉の道フラワーロード 除草作業

フラワーロードに雑草、雑草、雑草が生える。今年は例年になく高温で降水量が少なく、雑草の成長が早く、10日も過ぎるとまた生えてくる。そんな中、8月5日（土）早朝、5時30分から、地域のみなさんのご協力ですら除草作業の開始。へメロカリスやマリーゴールドなどの間の草を一本一本抜いていく。人海戦術で草を抜いていく。延長900メートルと押切集落の入り口100メートルを合計して、約1キロメートルの総延長になる。8月お盆に帰省した方々をフラワーロードはお迎えした。8月全国高校野球甲子園大会で思い出した。4年前の2019年8月、第100回記念大会で準優勝したのが、「秋田県立金足農業高校」であった。その時、新聞の見出しは、「雑草軍団（踏まれても踏まれても、強い根で上へと伸びていく)」。雑草は、こんな使われ方もされている。

参加者のみなさん、ご協力ありがとうございました。



宮沢の歴史ロマンにふれる

8月6日（日）宮沢地区歴史保存会役員が講師となり、参加者13名で史蹟など宮沢の歴史めぐり。山刀伐峠名は、山仕事の際にかぶった「なたぎり」という被り物の形に似ていることに由来すると言われている。芭蕉と曾良が峠から尾花沢に入った時の説明を受け、頂上で子持ち杉と子宝地藏にお参りした。翁塾で管理しているハス園で写真撮影。「ピンク色のハスきれいね」「いや、あなたも良いよ」。天子塚（伝説）に移動し、順徳天皇陵確認運動で、国会まで請願した宮沢パワーの話聞いた。森山養魚場の鯉やうぐいを飼っている池に移動。魚を熊にやられたりしたが、二代目の「岩三郎」さんの看板を、苦心を重ね今は七代目が継承している。



宮沢と満州（4） 満13歳で満蒙開拓青少年義勇軍に 宮沢から23名が

宮沢村からは満蒙開拓青少年義勇軍に第1次から6次まで以下の少年が応募している。

- 第1次(昭和13年) 後藤次雄(正殿) 菅野四郎(正殿) 井上十三郎(正殿) 鈴木正男(正殿) 館野芳丸(丹生) 加藤静男(丹生) 山口勘次郎(高橋) 山口 勉(高橋)
- 第2次(昭和14年) 柴崎岩男(矢越) 柴崎春夫(矢越) 押切高福(高橋) 大貫健蔵(中刈) 原田喜作(行沢) 石山豊(行沢) 三浦五郎(行沢) 館野正信(丹生) 大山正雄(丹生) 阿部吉男(丹生) (下写真)
- 第3次(昭和15年) 石山 進(関谷)
- 第4次(昭和16年) 堀江倉治(安久戸) 堀江正吉(安久戸) 大貫喜也(中刈)
- 第5次(昭和17年) なし
- 第6次(昭和18年) 山口 茂(高橋) 合計23名

歌人の結城哀草果は『早春界限』に、国、県から義勇軍志望者を1村から最低2名のノルマがあり、校長と小学校高等科卒業担任の教師はやっきになって勧誘した。と記され、児童は先生の熱意に感動して志願を申し出たが、親は小学校を卒業したばかりの子を異国の物騒な地に送りたくなかった。と記している。それでも少年たちには新天地での飛雄の夢と御国のために尽そうとする愛国心に満ちて応募した。(『山形新聞、後藤嘉一 昭14年10月』)

下の壮行会写真に写っている少年たちの中に農家の長男が数人いる。その一人、押切高福君は満州で成功し家族を呼び寄せるつもりだったと言っている。

不幸にして館野芳丸、石山豊の両君は戦死している。また石山進さんはソ連に連行されたが、他の人達は早い時期に帰国でき(昭和21・22年頃)、農業に邁進出来たのは幸運であった。

(下写真) 宮沢村主催 満蒙開拓青少年義勇軍の壮行式 昭和14年1月 於御所神社

明德・高橋小学校高等科2年(現中学2年)3月の卒業を繰り上げて送り出す。



昭和14年
1月24日

前列左より大貫健蔵・石山豊・原田喜作・阿部吉男・伊藤先生・大山村長
大山正雄・三浦五郎・柴崎春夫・押切高福・柴崎岩男・村岡校長・熊谷先生

高橋小学校高等科2年
満13歳で満州へ